

# 子どもたちのスマートフォンやSNS等の利用状況

播磨町教育委員会では、毎年小学3年生から中学3年生までを対象

にスマートフォン（以下スマホという）などの所持率や利用状況について、調査を実施しています。

地域学校教育課学校教育係 079-4335-0545

調査結果から、学年が上がるにつれて、スマートフォンの所持率が高くなっています。小学6年生で69%（昨年より2%増加）であり、増加傾向にあります。ゲーム機（インターネット接続可能なもとの所持率では、小学6年生は80%以上になり、以降、中学3年生まで同程度となっています。また、子ども同士のコミュニケーションにおいても、ネットが活用されて便利になる一方で、ネット依存や書き込みによるいじめ、ゲームによる高額な課金、個人情報の流出などのトラブルも多くなっています。

また、兵庫県青少年本部が令和6年

度に実施した調査からは、次のことが明らかになっています。

○スマートフォンを持つている子どもの中が、小学校低学年でも約3割である。

○ネット依存の傾向にある子どもの割合が、年々増加している。

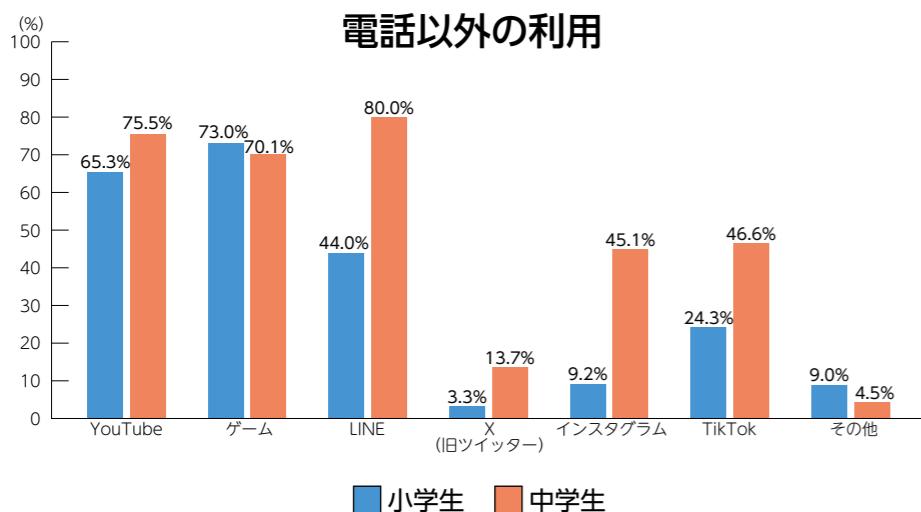
○長時間ネットを使う子どもの割合が増加しており、1日2時間以上使う割合は、小学生（4～6年）では66%以上であり、中学生では80%以上となっている。その影響は「睡眠時間」にも出ており、就寝時間が「午前0時以降」と回答した小・中学生の割合は50%を超えており、健康への悪影響も出ている。



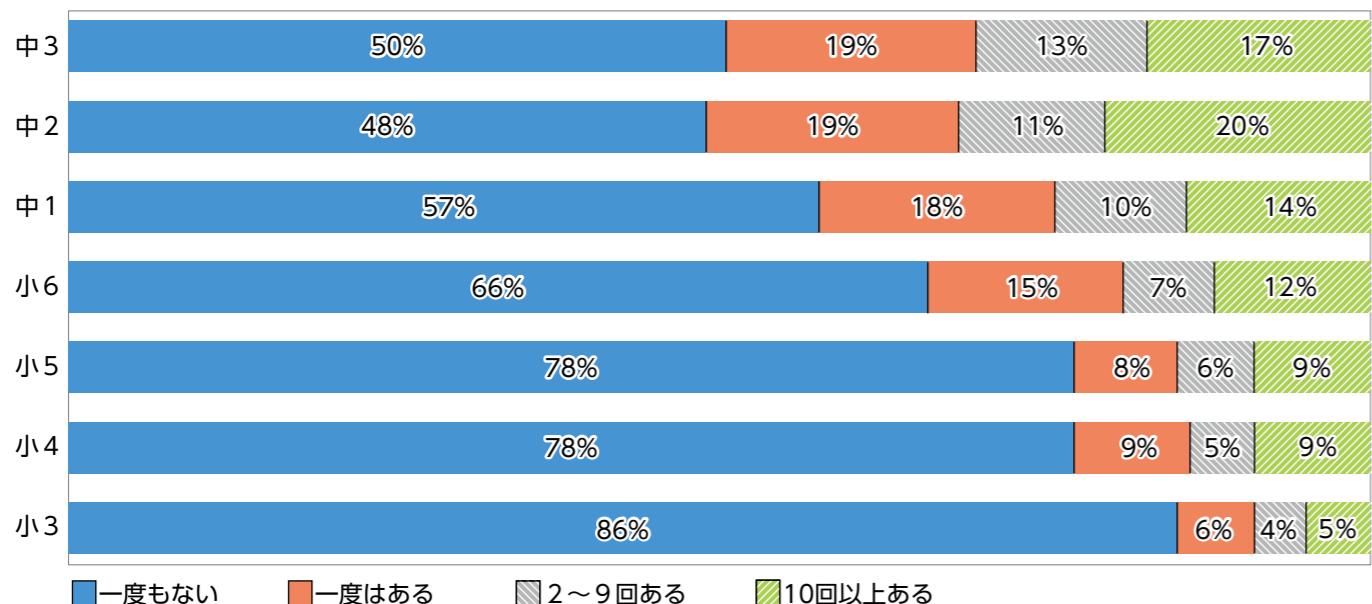
## 利用しているコンテンツの状況

電話以外で利用しているコンテンツについては、下のグラフのようになります。小・中学生ともにゲームやYouTubeの利用が多いことが分かります。ただ、中学生になると、「LINEやインスタグラム、X（旧ツイッター）など、書き込みにより相手とやり取りの可能なコンテンツの利用が多くなっています。インスタグラムやXは、会ったことのない知らない人とでもやり取りができる可能性があり、注意も必要になつくると考えられます。

小学6年生で3割以上、中学3年生で約5割の児童生徒が「会ったことない人」とネット上でやり取りをした経験があります。小・中高校生が、知らない人のネット上のやり取りが原因で、犯罪に巻き込まれる事件は、兵庫県内でも多発しており問題となっています。播磨町内でも、各校において子どもたちに対して、警察などの関係機関による講演会（ネットトラブル、携帯電話の使い方など）の実施や「タブレットや携帯電話の使い方やモラル、注意点など」について、家庭連絡ツール等を用いて啓発を行っています。家庭においても、子どもたちが、インターネットやゲームを安全に利用するため、ルールを決めたり、フィルタリングをはじめとしたペアレンタルコントロールを積極的に活用したりするな



## 会ったことのない人とネット上で、やり取りしたことがある (対象児童生徒数を100とする)



## 兵庫県内の専門機関による相談窓口

- 兵庫県警本部サイバー犯罪対策課 ☎ 078-341-7441 (代表)
- 兵庫県警少年相談室 ☎ 0120-786-109
- ひょうごっ子悩み相談センター（24時間）☎ 0120-078-310

## 携帯・スマートフォン等の所持率（複数回答有り） (対象児童生徒数を100とする)

